

**VOL.16**

[発行者]長崎県立大村城南高等学校育友会  
会長 井手 浩  
〒856-0835 長崎県大村市久原1丁目416番地  
TEL(代表)0957-54-3121  
FAX 0957-27-3056  
[発行日]平成24年10月10日  
[印刷所]オムロプリント株式会社

## 育友会総会 5月13日(日)

毎年とても  
楽しみでーす。  
売り切れ続出のため  
早目の御来店が  
お勧めです。

**農産物  
等販売**



行事予定や  
子どもの専門科目の  
先生など、  
いろいろな情報を  
得ることができ  
ました。

参加人数が  
少ない中、  
お父さんの参加に  
盛り上りました。

普段の生活態度の  
話を聞きながら、  
就職進学の状況の厳しさを  
改めて  
感じさせられました。

**学級  
懇談会**



**学年  
懇談会**



## 進路実現に向けた学習活動



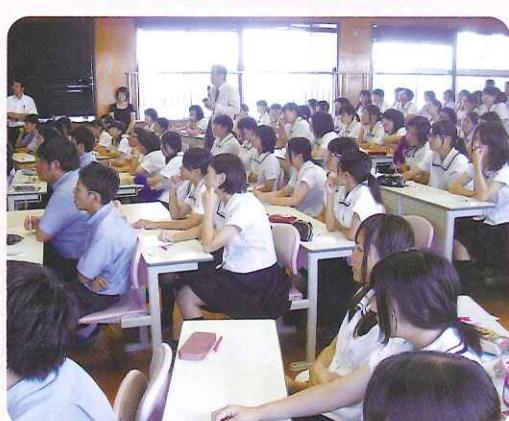
**進路ガイダンス**



**学習会**



**進路講習会**



大学、専門学校  
から来ていただき、  
学校の説明を保護者の方も  
一緒にになり学習  
しました。



夏季休業日には、進学を目指した生徒が自主的に参加し、熱心に学習に取り組みました。



外部から講師に  
来ていただき、企  
業側から好まれる人間像について  
学習しました。

## 卒業生の声 社会人になって今、想う

# ～大村園芸高校・大村城南高校で学んだ3年間。 甘えやわがままは許されない。厳しい社会への通り道～



昭和48年度卒業生  
富崎 善隆



平成19年度卒業生  
山口 弥生



平成22年度卒業生  
木佐貫 千夏



平成23年度卒業生  
上野 真之亮

私の高校時代は、日本の高度成長期で農業にも夢があふっていました。同級生にも自覚希望者が多く、今でもそのつなぎは残っています。

高校時代の番の思い出は東京に行ったことです。クラブ活動で学生科学賞に応募して、末席ながら東京での授賞式に出席できました。友達がてかてか光る学生服はみつともないと、どこからか新しい学生服を見つけてきてくれました。

今でこそ東京は近いところですが、当時は寝台列車に揺られての長い旅でした。当時大人気だった「天地真理」のコンサートも印象に残っています。帰りの東京駅で土産を買いました。その土産はなんと洋モクだったので、そのころ長崎ではなかなか手に入らなかった外国製の煙草を買う私を、引率の先生は黙認してくれました。今では生徒指導不足と問題になることでしょ。そういうおおらかな雰囲気が今になれば大切な気がします。

我が家にも昨年から農業後継者が誕生しました。周りの方からは「後継者ができるよかつたね」とよく言われますが、内心不安もあります。世界の中での日本農業を見たとき本当に勝負できるのか少し心配です。農業をやっていて良かったと数十年後も言えるような社会であつてほしいと願つこの頃です。

私は、大村城南高校を卒業して大村看護高等専修学校に進み、今は小児科内科で看護師として働いて3年目になります。

高校時代は、親や先生、学校に守られていたので、何事も恐れることなしで、悪い意味でもいるなんことに果敢にチャレンジしていました。

学生時代には忘れ物をしたり、先生の話を聞いていかつたりしたことも日常茶飯事でしたが、社会に出てからはこのようなことは許されません。職場で忘れ物をしたり、話を聞いていないということは患者さんに間違った情報を伝えたり、間違ったお薬を渡したり、間違って注射をしてしまつことにつながります。そのようなことが起らぬよう今は、話を聞くときはメモを取りています。注射の準備をするときは他の看護師に確認してもらいながら間違いが起こらないように気をつけています。もしも間違った情報を患者さんに伝えたりすると、私や病院が注意を受けるのはもちろんですが、そのせいで事故が生じると患者さんに大変迷惑をかけてしまいます。だから、自分の言動にはしっかり責任を持てるようになっています。

高校生の時に部活に入ってよかつたと思います。私はボート部に所属していました。特に上下関係や挨拶の指導が厳しかったです。部活動に入っていたから上位関係を学べず、社会に出てから大変苦労したと思います。その時は先輩が怖いから挨拶するとか、先輩から見られないから挨拶しないでいました。特に上下関係や挨拶の指導が厳しかったです。部活動に入っていたから成功が遠くかもしれません。社会に出て落ち込む時もあるし、失敗して泣きたい時もあります。そういうときに助けてくれるのは高校の時の仲間、友達です。私は良くできた学生ではなかったので、よく友達に支えてもらっていましたし、時には私も友達を支え励ました。そして、お互いに良いところも悪いところも言えるように信頼関係を築きました。学生の時の友達は生の友達になるので大事にします。

学生には勉強も部活も大切ですが、挨拶や言葉遣いが下手な人は、社会に出てから成功が遠くかもしれません。社会に出て落ち込む時もあるし、失敗して泣きたい時もあります。そういうときに助けてくれるのは高校の時の仲間、友達です。私は良くできた学生ではなかったので、よく友達に支えてもらっていましたし、時には私も友達を支え励ました。そして、お互いに良いところも悪いところも言えるように信頼関係を築きました。学生の時の友達は生の友達になるので大事にします。



平成23年度卒業生  
上野 真之亮

名古屋の看護学校に病院で働きながら通い始めて約1年半。私が気づいたことは3つあります。

1つ目は、身の回りのことを自分で自身で行わなければならぬということです。今まで休みの日にご飯を作ったり母の手伝いをすることはありましたが、部活から帰ると夕食ができることがほとんどでした。しかし今は仕事が終わって帰ってきて自分で夕食を作らなくてはいけないので仕事が終わってから私たちの夕食を作ってくれていた母のありがたみを感じます。

2つ目は、学習の大変さです。高校生の時はテスト期間がありその間は部活動もなく、試験勉強だけに集中することができますが今は仕事があり勉強時間も自分で作る必要があります。また、教科が終了することに試験があるので範囲も膨大です。特に解剖生理学の試験には苦労しました。この時改めて日々の学習の大切さが分かりました。毎年からは夜勤が始まり毎晩2時間程度で学校に行くので授業中は寝魔と戦うこともあります。しかし、授業中に寝てしまうと試験の時に困ります。そのため起き漏らさないようにしっかりと集中しないわけいけません。看護師見習いなので大きめの責任を問われるような業務はしませんが、患者さんのお話を聴いたり、身体介助を行つたりと看護師よりも身近な存在であるように努めています。また、日々患者さんの状態は変わつてるのでそれに合わせた介助が大切です。今では患者さんに名前で呼んでもらえるようになりました。大変の中に楽しさが出てきます。

3つ目は、仕事です。病院で看護補助として働いています。看護師見習いなので大変ですが、患者さんのお話を聴いたり、身体介助を行つたりと看護師よりも身近な存在であるように努めています。また、日々患者さんに名前で呼んでもらえるようになりました。大変の中に楽しさが出てきます。



私が通う頃はまだ大村園芸高等学校時代で女子より男子が多く、牛や豚や鶏などもたくさんいて、今とはかなり異なり、農家の後継者なども多かつたよう思います。普通校とは違う特色のある学校で机に向かって勉強した記憶はありませんが、山に木の伐採に行ったり、田植えや稻刈りをしたり、校内農業実物鑑定競技大会などが思い出です。また、家が養豚をしているという理由で無理矢理引っ張りこまれた課題研究班の畜産で行った家畜審査や意見発表は、この学校でしか経験できなかつたことだと思います。

就職は部活動の司道で顧問をされていた先生のご紹介で京都の美容室に行きましたが、何かの用事の際、わざわざ訪ねてくださり卒業してまで気にかけていただけで、外見から見ると綺麗な仕事ですが、実際は汚く、きついこともたくさんあり、何度もやめたいと思ったかわかりません。その度に恩師の顔や親の顔が浮かび続けることができました。

結婚機会に仕事は辞めましたが、現在はパートでカーネーションと葉タバコの仕事に就いています。大村園芸高校で学んだことが今も役に立つているように思います。

「継続は力なり」です。続けることは意義があると思う今日この頃です。

## 城南生と語る会 9月19日(水)

# テーマ あなたが大事にしているもの

この「城南生と語る会」は、育友会会員と生徒が学校生活などについて意見を交わし、その意見を基に子どもたちのますますの成長を支援しようという趣旨に基づき毎年実施しているものです。学年ごとに生徒と保護者が参加し行っています。ここ数年は学年別にテーマを設定していましたが、今年度は全学年共通のテーマで実施しました。事前に全生徒を対象に行ったアンケートでは、「友だち」や「携帯電話」などの意見が多かったので、当日はそれらについての話を中心に、親子関係や命の大切さについての話など織り交ぜながら、和やかな雰囲気で意見交換を行うことができました。

### ●参加しようと思った理由を教えてください。

#### 保護者の意見

- 子どもたちの思っていることを聞きたかった。(1年・3年)
- 他の生徒との交流(1年・3年)
- 高校生の意見を見たり、表情を見たりしたかった。(1年)
- 前回も参加して、高校生と話すことが楽しかった。(2年・3年)
- 家庭では気恥ずかしくて子どもに聞けないようなことを聞いてみたいと思った。(2年)

#### 生徒の意見

- 先生方に勧められた。(1年・2年・3年)
- 興味があった。(1年・2年)
- 保護者の方の意見が聞きたかった。(1年)
- 友達に誘われた。(1年・3年)
- 他の生徒、親の意見を聞いてみようと思った。(2年)
- やる気に満ち溢れていたから(3年)
- これまで参加してきたから(3年)
- 何を話されているのか気になったから。(3年)
- 進路が決まってゆとりがあったから。(3年)
- 面接の練習。自分の意見を言おうと思ったから。(3年)

### ●参加した会のテーマについてどのように思いましたか。

#### 保護者の意見

- 全学年統一テーマでよかったと思う。(1年・2年)
- 話し出すきっかけとなってよかった。(1年)
- 充実しても楽しい時間を過ごせた(1年)
- テーマはよいが、アンケート内容でもっと詳しく理由を踏み込んでほしかった。(1年)
- もう少し詰めたテーマでもよかった。(2年)
- いろいろなことが分かってよかった。(3年)
- 大事にしていくことは人生において大きな意味がある。(3年)
- 学年別のテーマが良かった。

#### 生徒の意見

- 普段考えないことなのでよかった。(1年・3年)
- それぞれ意見がある真剣な話ができた。(1年)
- よく考えられていた。(2年・3年)
- いいと思うが、1つでは限界がある。(2年)
- 重いテーマだったけれど、楽しかった。(2年)
- 簡単そうで、考えると少し難しかった。(1年・2年・3年)
- それぞれ大事にしているものが違う、よかった。(2年)
- 今一番聞かなければいけないことと思った。(3年)
- アンケート結果にびっくりした。(3年)
- 大事なものを持つべきだと思った。(3年)
- 意見を多く出すことのできるテーマだった。(3年)

### ●同じ会に参加した保護者の方の意見を聞いてどう思いましたか。

#### 生徒の意見

- 高校生は大人と子どものどちらかの気持ちを持っていると思うので、理解できないこともあった。(1年)
- いろいろなことを経験した大人の意見だと思った。(1年)
- 親の立場での話が聞けてよかった。(1年)
- 保護者の方は子どものことをいつも考えているのだなと思った。(1年)
- すくいい話をさせてださって、心に響きました。(1年)
- 保護者としての本心が聞けてよかった。
- 親の目線側からの意見を聞いて納得したり、進路のことについて改めて考えることができた。(2年)
- いつも親に聞けないような貴重な意見を聞いて、はじめて知ることばかりでした。
- みんな自分とは違う意見を持っていて面白かった。(2年)
- よく考えてもらって、返答が丁寧だった。(2年)
- 話し方が、堂々としていた。(3年)
- 家族のことを大事にしていると思った。(3年)
- 勉強になった。(3年)
- わかりやすかった。(3年)
- 参考になった。(3年)
- 家族の愛が良かったなと思います。
- ほとんどみんな同じ意見だった。(3年)
- 保護者の思っていることが分かった。(3年)
- よく子どものことを考えてくれていると思った。(3年)
- いい話が聞けてよかった。(3年)

### ●同じ会に参加した生徒の意見を聞いてどう思いましたか。

#### 保護者の意見

- 正直な気持ちが聞けてよかったです。(1年)
- 意外な結果や、やはり…と思う意見があった。(1年)
- 親を見る目、子どもの見る目の違いがあった。(1年)
- もう少し本音が出てよいかなと思う。(1年)
- みなさんしっかりして感心した。(1年)
- おとなしくてあまり積極的な意見が出てこなかった。(1年)
- とても素直でまじめな態度であった。
- もう少し不貞腐れた様子が見られるのかなと思った。(1年)
- 子どもらしい意見ではなく、1人の大人としてのしっかりした意見でした。(2年)
- 大事にしているものの中で友達と答える生徒が多いということは高校生ライフを高校生らしく過ごしているのだと思った。(2年)
- もう少し違う意見が聞きたかった。(3年)
- しっかりした意見が聞けた。(3年)



### ●参加して印象に残った内容をお書きください。

#### 保護者の意見

- お小遣いの金額が聞けてよかったです。(1年)
- 携帯電話を持っていない人が3分の1いたこと。(1年)
- 友達を大切に思っている気持が嬉しかった。(1年)
- 大事なことに携帯電話が一番多いと思っていたのですが、親友が一番多かったことが意外でした。(1年)
- 親が子どもをしかるべき、心の中で何を考えているのか質問された。(2年)
- 保護者の参加が少なかった。(3年)
- 生徒の参加人数を増やしたい。(3年)
- いろいろな話が聞けた。(3年)
- 携帯電話を1日5時間以上使うこと。(3年)



#### 生徒の意見

- 通学カバンが大事だと答えた人が立派だと思う。(1年)
- 堅苦しいものかと思っていたが、やんわりとした雰囲気で意見が言いやすかった。(1年)
- 携帯電話を安全に使ってほしいと思っているという意見が印象に残った。(1年・2年)
- 感謝することはよりも大事なことを改めて思った。(1年)
- 大事にしていることの中に友達みたいな意見が多かったことがとてもうれしく思った。(1年・3年)
- 構造、意見もたくさん出て自分の思っていたことも意見できたので全部印象に残った。(1年)
- いじめの内容が心に残った。(2年)
- 大事にしているものが親。(2年)
- 進路について(2年)
- 子どもは親から離れないと思っているけれど、親は離れないでほしいと思っている。でも、子どもを応援したい気持ちはある。(2年)
- 自分たちが親離れをするときの親の心情が印象的だった。(2年)
- いじめや自殺についての話題。やっぱり、最近の日本はおかしいと思いました。いじめる側もいじめられる側も命は大切にしてほしいと思いました。(2年)
- 城南に3年通ってよかったところ、悪かったところ。(3年)
- 携帯電話の料金が家族より高かったこと。(3年)
- 家族が一番大切だという意見(3年)
- テーマ以外の話を聞くことができた。(3年)



### ●これからの「城南生と語る会」について、ご意見やご要望等ありましたらお書きください。

#### 保護者の意見

- 保護者の参加者が増えればいいと思います。(1年・2年・3年)
- よい子ばかりでした。特に1年生は意見が出ないので、もう少しフレンドリーで意見を言える子どもの人数を増やしてもいいかもしれません。(1年)
- いろいろな意見を言える生徒が来くれると話がもっと広がるかなと思いました。(1年)
- 次回もテーマがあり、アンケートがあるといいと思いました。(1年)
- 遙ばれた子どもたちだけでなく、もっと多くの子どもともっと多くの親たちが参加できればいいのではないか。(1年)
- 子どもたちにテーマを決めてもらってもいいと思う。(2年)
- おとなしい人数を増やしたい。特に男性の参加がほしい。(2年)
- 続けてほしい。(3年)
- テーマを掘り下げているものにしてほしい。(3年)
- 昨年はもっと活発な意見、会話ができた。(3年)

#### 生徒の意見

- 来年も参加したい。(1年・2年)
- とてもよかった。(1年)
- 今は貴重な体験ができるよかったです、とても楽しく取り組むことができたのでよかったです。(1年)
- 次回もまた、たくさんさんの話をしたいと思いました。(2年)
- 時間が短いと思います。(2年)
- 意見が浅かったから、もっと詳しくしたほうがいいと思う。(3年)
- これからも続けていく良いと思う。(3年)



## 会長挨拶

育友会会長 井手 浩

本校育友会会員の皆さん「こんにちは」。本年度も会長としてお世話になりました。

昨年度は創立70周年という事で体育祭・城南祭・記念式典と記念行事が目白押しでした。この記念すべき年に会長としてまた、卒業生の一人としてこの事業に携わることができましたことに感謝申し上げます。

さて、近年の社会は、世界経済のグローバル化・高い失業率・少子高齢化の進行・年金問題と今までの価値観が多方面で崩れつあり子どもたちの就職難の問題ばかりではなく親も様々な不安を抱え、日々の生活を送っているのではないかと感じます。そして、このきびしい社会を生き抜く子どもを育てようと皆さん懸命に努力されていることだと思います。しかし、「子どもは何を考えているのやら…」とか、「多感なこの時期どう子どもと接すれば…」と悩んでいる方もいらっしゃるのではないかと思います。

私たち育友会では行事や活動を通じ問題解決やその糸口を探したり、家庭・学校・地域との連携により子どもたちの健全育成や学校生活が快適に送れるよう支援しております。程時間を検討しております。来年度の総会にはぜひ、御理解をいただき多くの方の御出席を願いまして、挨拶いたします。

最後に5月に総会の御案内をいたしましたところ、御多忙の中御出席されました皆様ありがとうございました。しかし残念なことに参加者が少ないということです。御多忙と存じますが、私たち役員も学校側と協議を重ね皆様が出席しやすい日程時間を検討しております。来年度の総会にはぜひ、御理解をいただき多くの方の御出席を願いまして、挨拶いたします。



学校長 田坂 吉史

## 「あいさつ・清潔・時間」の徹底を

平成24年度、創立71年目がスタートして、早6ヶ月が過ぎました。今年は男子111人、女子393人の総勢504人でのスタートです。

始業式では、次のようなことを生徒の皆さんに話をしました。

1年のスタートに当たって、努力を必要とする、高い、自分の目標を持つてほしい。そこで、今年の重点目標である三つの提案をします。

一つ目は、「あいさつ」です。

会話は、あいさつから始まります。

大きな声でだれとでも、また距離が離れていても挨拶ができる人になつてほしいと思いません。

今日からお互いに実践していくましょう。

二つ目は、「清潔」です。

清らかな心は清らかな環境に宿ります。身なりの清潔、身の回りの清掃に徹してほしいと思いません。

三つ目は、「時間」です。

遅刻しない、始業時間に遅れない等の時間を守ることには当然のことですが、家庭学習時間の確保にも努めてほしいと思います。

以上の「あいさつ」「清潔」「時間」を本年度のキーワードにし、生徒の皆さんとの進路実現につなげていきたいと思いますので、御家庭でも御協力をお願いします。

本校のキヤツチフレーズでもある『頑張る君を応援する高校』に私たちも徹したいと思います。



城 南

## 全国高等学校PTA連合大会に参加して

育友会監事 宮園 千枝美

今年は和歌山県和歌山市、田辺市で8月22日(水)～24日(金)に開催されました。メインテーマは「和をもつて響き合え!」、サブテーマを「つれもて広げる共育の輪」とし「つながり」を大切にした大会でした。2011年は東日本大震災、さらに和歌山を含む紀伊半島を襲った台風による豪雨災害など、自然が猛威をふるった1年だった為、このような状況の中、人と人とのつながりがいかに大切であるかを再認識させられる年でもありました。また、現在物質的に豊かで便利な環境に甘んじながらも、このままではいけないと多くの人々が感じています。私たちも大學生どもたちの環境をもつともっと温かい血の通つたものにしたいと思います。その為には、家庭や学校だけでなく、地域や公共の力は不可欠です。子どもも大人も共に育つ社会を目指して、私たちのできること、私たちがやるべきことは何なのか、真剣に取り組んでいく場にできるように、大会概要、日程が組まれていました。

第1日目は、高校生歓迎アトラクションの吹奏楽から始まり、開会式、表彰式と進み、午後からも高校生による和太鼓、少林寺拳法、箏曲が披露されました。メイン会場も軽く5千人は見える人たちの前で、かなり緊張もされていました。そのような中で素晴らしいものを見せていただき、私自身感銘を受け全身何度も鳥肌状態が続きました。この日の為に一生懸命練習をされてきた成果が見れ本当に良かったです。その後、宇宙航空開発機構教授の川口淳一郎氏の基調講演があり1日目は終了しました。

2日目は、各分科会会場に分かれ、それぞれのテーマにそつての事例発表と研究協議が行われました。私は、テーマ「学校教育とPTA」「社会性を身につける力」を育む共育とPTA活動に参加しました。基礎になる「生きる力」を育成する学校づくりをめざし、PTAはどのような支援をすべきかについて全国代表4校の発表者の皆さんに共感したことは、まずは学校を理解し先生たちがされている学校教育を理解することの大切さ、保護者が自分自身の考え方の粹のみにこだわらず、より多くの情報を共有し親同士の交流の場を持つことの大切さです。悩みを分かち合う、悩んでいるのは自分1人ではない、いろいろな見方、考え方があるという事に気づくことも大切なことで、新たな出会いを通して親は自分自身の人間性を磨き成長することができることと考えられるところです。この大会を通じてPTA活動に対する熱意と愛を感じ、たくさんのかの刺激を受けて帰つきました。私にとってとても貴重な体験ができたことに感謝します。ありがとうございました。

育友会副会長 原 昌範

九州地区高等学校PTA連合大会に参加し、今大会のテーマ「ふかめんね縛ふくおか大会」と題しまして、会長、副会長、そして教頭先生が参加しました。

開催内容については、第1分科会「青少年の健全育成とPTA活動」、第2分科会「進路指導とPTA活動」、第3分科会「地域コミュニケーションとPTA活動」と各役員別で参加し、私は第3分科会に出席しました。

主な内容は、九州女子大学 準教授 大島まな氏による

①「いきる力」が育っていない子どもたち、②「地域の教育力とは何か」、③「自立トレーニング・プログラムの創出」、④「子どもは地域で生活し、社会で生きていく」基調講演の後、4名の方によるパネルディスカッションが行われました。

今回の大会に参加して感じた事は、最近報道でよく話題となっている「いじめによる自殺」が多く発している状況の中、講演内容にもありました「いきる力・地域の教育力」ということです。日本古来の子育ては妻に任せて、夫はひたすら仕事に打ち込むという、この伝統的なあります。反省し、PTA活動や授業参観など子ども達のふれあいのために時間を出来るだけ取れるよう努力したいと考えさせられました。

最後に、私たち保護者が協力し合いPTA活動を実践する事が学校を支え、地域の和を生み、そのことが「子ども達のために」につながっていくものと信じています。

## 田んぼアート

9月、みごとに「がんばくん」が出現!



今年6月、田植え前。  
さて、何の絵が出現するでしょう?  
ここに色違いの穂を  
植え分けました。



## 編集後記

### これからの日程

10月14日(日)

【諫早・大村・東彼地区PTA研修会】

11月10日(土)～11月11日(日)

【城南祭】

12月11日(火)～12月13日(木)

【1年インターンシップ】

12月16日(日)～12月19日(水)

【2年修学旅行】

2月 7日(木)

【マラソン大会】

3月 1日(金)

【卒業式】

今年も「城南」を充実したものにしようと深みのある話合いが始まっています。

学校行事も記載されています。参加できる行事は保護者の方も是非出席されてください。

卒業生の声、城南生と語る会での親の目、子どもの目、とても心に残りました。

広報誌作成の折、たくさんの御協力をいただき、ありがとうございました。